

佐久の風土を生かした自給暦の進化発展・普及活動

取組に至る背景・事業の目的

「佐久の風土や歳時」「食と農」「健康と生きがい」等相互のつながりや、自給の本来的価値（豊かな暮らしの宝庫）等を学習・発掘して「見える化」し、冬野菜、ずらし蒔き等で一年を通して旬の食文化・農を楽しむ実践的な学習交流テキスト（自給暦）を作成するとともに、定期的な学習交流会の開催を通じて、佐久地域に広く啓発普及する。また都会の定年退職者などの農への参加・移住促進につなげる。

事業内容

①自給暦の制作、販売について

「佐久の自給暦」の内容を充実させ、本編と資料編セットで550部作成。公的施設等へは無償で配付し、他は販売した。

②学習交流会

「佐久の自給暦」を活用して内容を理解し、研究しあい、実践レベルを高めるため、毎月第2土曜日の午後に学習交流会を開催した。

③講演会

自給暦の内容を深めるのに必要不可欠なテーマとして「本当の豊かさ」と「月暦、甦るいのち」を取り上げ、寛次郎先生と志賀勝先生の講演会を開催した。

第1回 平成28年1月9日、第2回 平成28年2月13日

場所：佐久情報センター 時間：午後1時～4時 総参加者95名

④銀座NAGANOでの普及イベント

自給菜園ができる田舎生活（移住）を希望する人を対象にセミナーを開いて農のある暮らしの豊かさをアピールし移住等促進に役立てた。

⑤ホームページの改定について

主に県外の訪問者の増加を図るため、ホームページを改定した。



【学習交流会の様子】

事業効果

①自給暦については内容の充実が評価され、またマスコミ関係への積極的なアピールが功を奏し新聞社、ケーブルテレビ、ラジオ、インターネットなどで取り上げられ、当初目標をはるかに超える356部の販売実績を達成した。

②学習交流会は新しい参加者も目立ち、月平均38名の参加を得た。

③講演会は予想を超える参加（163名）があり、本事業の理念への関心の高さがうかがえた。

④銀座NAGANOでの普及イベントには14名の参加があった。数名の参加者からはこのセミナーを通して本格的な移住に踏み切る可能性が高まったとの感想をいただいた。

⑤ホームページの改定を行った結果、ページへの訪問者の増加がみられ、問い合わせも来ている。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

マスコミを上手く利用できたことで、反響が大きく、当初のねらい・数値とも達成ができた。今後は内容の充実を検討し、参加者の増加や次の発展的展開を探っていく。

【選定のポイント】

地域住民や県外者からの問い合わせも多く、地域の良さの再発見が進んでおり、かつ移住を検討する際の判断材料となる可能性がある。

団体名 千石の杜	事業タイプ ソフト事業
連絡先 090-3064-3297 (荻原 武治)	事業費 1, 273, 959円
ホームページ	支援金額 746,000円
http://www.s-hidaka.co.jp/top/sengoku-nagano/sengoku-top.html	